4MINIちゃんぷ
News Clip 02
4MINI人気は万国共通！
世界のヨンミニ最新情報

# 4MINI NEWS of THE WORLD

モンキーやゴリラはもちろん、ダックスやシャリィまで、日本生まれの4MINI達が世界中でヒートアップしているっていう嬉しいニュースをトピックス形式でお届けです。その国やエリアによって全く異なるカスタム方法や楽しみ方……リアルな最新情報をチェックしてみてください。もちろん、モトチャンプ＆4MINIちゃんぷも世界各国で販売されていて、世界中のフリークが読者のみんなのマシンを穴があくほどチェックしちゃっているんです！

テラスで寝る人、キャンピングカーで寝る人、夜遅くまで騒ぐ人、夜は早寝で気持ちのいい朝を満喫する人。それぞれのスタイルで4MINIを楽しんでます。こちらのおっ人は早朝のひんやり冷たい空気のなかでブレックファースト。イイでしょ～！　この雰囲気。

From Germany

## 日本のメーカーも出展＆視察アリ！
## 8カ国から500台が集まる ドイツ最大の4MINIミーティング

このイベントは2日間開催なのでキャンプなどの宿泊セットも持ち込むのが定番。近くにホテルもあるので、そちらに泊まる人もチラホラいるにはいますが、たいていはこんなふうにキャンピングカーやテントを張ります。

HONDA MONKEY
Bernd Hilbert（44歳）

「182ccで22ps出てるんだぜ！」マニホールドを6mmリメイクFCRを付けたんだ！と誇示アピールするトーマスさん。ブラックバンダーコーティングというシブいペイントが目を引くクールな仕上がり。ライトの形状やオレンジの絶妙な使い方など、ハイセンスなまとめかたしたな～。

▲ホラ！　モンキーのエンジンが搭載されてるでしょ？ミサイルスイッチなんかも装備しちゃって、けっこうかっこ良かったりします。

モンキーBECK'S
Jonathan Korter（18歳）

会場内には個性溢れるあらゆる4MINIが、いや、4MINIじゃないマシンまで登場するほど多彩な参加者で溢れかえってましたが、いちおうモンキーエンジンが搭載されてて、4MINIって言えるマシンの中での個性派がコチラ。朝から夕方まで、ずっと走りっぱなしでしたけど、どんなに走っても楽しそうにしてたのが印象的。

スイッチ類はハンドルに埋め込んで、ハーネス類はハンドルの中を通してます。細かいトコまでキッチリ作ってありますね～。

商品名は？「わかんないよ～」と言われてしまったヘッドライト。日本じゃあまり見かけないからなんとなくカワイイ感じが良かったです。

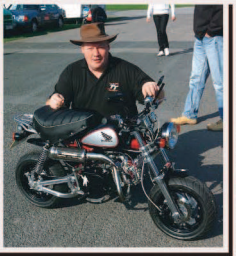
4MINI、特にモンキーとDAXの人気が高いドイツでも、日本の鈴鹿4MINIパラダイスのような4MINIのミーティングが開催されている。ただし日本と違うのは2日間（正確には前日入りする人も多いので3日間）で開催され、参加者はキャンプで泊まり込むという点。当然参加者はバーベキューを楽しみ、ビールを飲み、4MINIを語る。このようなイベントはドイツやベルギーなどで1年に何度も開催されているというが、ここnuess（ノイス）のイベントが最も大きな部類となるらしく、2000年から開催され続け、今年で8回目を迎えている。日本人も多く居住しているドッヤセルドルフからほど近いノイスの街の中心地という立地ながら、カスタム4MINIが走り回っても苦情も出ず、2日間タップリと4MINIを満喫できるのは羨ましい限り。展示用の超級カスタムも存在するが、ほとんどのマシンが「走り」を意識した仕様で、実際に走り回っているのもヨーロッパの4MINIミーティングの特徴と言える。また、このミーティングにはドイツ国内だけでなく、イギリス、ベルギー、オランダ、オーストリア、フランス、スイス、ルクセンブルクなど、近隣諸国からの参加者も多く、ワールドワイドに4MINIユーザーと情報交換できるのだ。

From UK

## 「4MINIちゃんぷ いつ出るんだ？」

nuess

HONDA MONKEY
Paul（Fyfer）（44歳）



「写真撮らせてください」って言ったら、「チョット待て、帽子とって来る」「オマエ、どこの雑誌だ？」「え？　4MINIちゃんぷか？　次はいつ出るんだ？」なんて要望の良かったおっちゃんはイギリスから来場です。コシムラ製マフラーやGクラフト製スイングアームやホイール、SP武川製エンジンなど、日本製パーツでんこ盛りカスタム。「いつも見てるぜ！　オマエも頑張れよ！」と檄を飛ばしてくださいました。

From Netherland

## 陽気すぎてこまっちゃう!? オランダの名物オッチャンは珍しい前後12インチ仕様

「おお～！　オレのシートと同じスコティッシュじゃないか？」と、撮影中に見つけた2人のボーイズを連れてきて「これでも写！」と言ってきた陽気なオランダ人。確かにスコティッシュな服装ですけど、彼らはもちろん「キャトンズ」。8インチと10インチが多いヨーロッパで、前後12インチカスタムとし、OVERレーシング製マフラーなど、全体的にしっかりとまとまりある仕上がりとなってます。

▶自慢はキャブレターに装着しているクイオのアルミ製ターピン（竹）。ホントに回るのかな～と思って、エンジンかけてもらったら、ホントにクルクルしてましたよ。

HONDA MONKEY
TED SINNIGE（50歳）

From USA

Pocket Bike GP
http://pocketbikegp.com/
Scooter Center
http://www.sfscootercenter.com/

## アメリカ西海岸のカスタム4MINIが今、静かなブームの兆しを見せる!?

日本製4MINIといえば、やはりXR50などのオフロード系マシンが独壇場のアメリカ。が　ツーリングやミーティングなどのイベントで、まれにオフロード系以外の4MINIを見かけることがある。そんなシーンで見かける場合は、大幅にモディファイされていることが多い。もしくはスクーターに関係する職業を生業とする人たちが、その「レアな存在」に魅力を感じ、4MINIも楽しんでいるケースも。ということで、西海岸ノリの4MINIをチェック！

HONDA DAX
ライアン

HONDA MONKEY
ダグラス

サンフランシスコからフリーウェイで南下すること約1時間、サンノゼという街の空港脇にある駐車場で開催されている走行会で発見したDAX。オーナーのライアンはDAXで走行会「Pocket Bike GP」を楽しんでいます。じつは彼の奥さんもDAXオーナー。ということで取材連絡用にメールアドレスをもらったんだけど、その後の連絡がパタパタなんだ～。あ～い、ライアン。コミ見たら連絡くれ～。
Ryan, Hello! We would like to cover you and your wife with your DAX. Give us an email, please!!
moto-champ@san-eishobo.co.jp

サンフランシスコのダウンタウンにあるショップ「スクーターセンター」のメカニックであるダグラス。ベスパやランブレッタなどのイタリアンなスクーターの修理やメンテナンスに追われる日々だけど、プライベートではモンキーも所有。彼曰く、ベイエリア（サンフランシスコおよびその近郊）では正直、このチの4MINIはマイナーな存在だそうで～～。が、そこがまたマニアウケを くすぐるとのことで、かなりお気に入りのマシン！

From Belgium

## ベルギーのチューニングショップ 日本製パーツもズラリで完全武装！

Fred's Bike　http://www.freesbike.be/

フレッドがひとりで営むという、ベルギーの西端部ブルージュに店舗を構えるFred's Bike。自宅兼ショップには、アルミフレームや削り出しホイール、日本でも人気のアルコン製タイヤなど、ハイエンドな日本製パーツが多くストックされていたのが印象的。もともとは2ストマシンが好きだったというフレッドだけど、友人のDAXを修理しているうちに4MINIにどっぷり。ここではこのFred's Bikeでカスタムされたマシンをチェックしよう。お隣のドイツとは違い10インチや12インチの大径ホイールが人気のようです。

HONDA MONKEY
マティアス（25歳）

日本でも人気沸騰中のヴィルスビード製12インチホイールを前後に履く1台。アルコン製タイヤもジャパニーズライクな組み合わせ。Mキッズ製アルミフレームにRS125R用フロントフォーク、Gクラフト製スイングアームでスパルタンな雰囲気漂点！　実はT のモンキーもマティアス君がオーダーしたものというから驚き！

HONDA MONKEY

OVER製アルミフレームや、削り出しの12インチホイールなどなど、クランクケース以外は純正パーツは残っていないという、超ハイエンドカスタムが施されたモンキー。ペイントが施されたアルミタンクや、T-WAY製のマフラーなど、アイテムセレクトのセンスが光る！

From Thailand

## タイで発見したカスタム4MINI 独自のスタイリングで2連発！

VANIT Motorshop　http://www.vanitmotorshop.com

もともと小排気量のミッション車が多いタイ。タイルブとういわれる大径ホイールを採用した4MINIも多く普及しているのは日本でも広く知られているお馴染みの光景です。もちろん、カスタムも広く楽しまれていて、芸の細かい作りこみや、日本とは違う色の組み合わせなどで、ひと味もふた味も違った独特な雰囲気を表現。ここでは、そんなタイでカスタムショップを営むVANIT Motorshopでスナップしたマシン&オーナーを紹介しちゃいます。

NSR用の12インチホイールを前後に装着し、ハンドルやフロントキャリパーも交換済みのKSR110。これらのカスタムは中古パーツを流用して約1万5000バーツかかったそう。タイでも取り締まりがとても厳しくなっているマフラーの改造だけど、チャン君のマフラーは比較的静かなので取り締まりの対象にはならないんだって。

KAWASAKI　KSR110
チャン（27歳）

YAMAHA　X1
ダン（27歳）

ASIAプロダクト製のワンオフスイングアームは3500バーツ、ステップはヤマハ製のカスタムで、スズキのRider(150cc)用ホイールを流用装着。コンパクトに装着されるステアリングダンパーなどもクールな仕上がり！